



ASHIKO TIMES NEWS 01

晴天のもと体育祭実施

自治会執行部のメンバーが7月から念入りに準備をしてきた体育祭が、9月28日(金)に晴天のもと行われました。運動部・文化部も全面的に協力して成功に導きました。騎馬戦、棒倒しなどの競技が、本校では安全性にも十分配慮しつつ例年通り実施されました。

年次を越えて全年次を東西南北の4グループに分け、グループ対抗の要素も加味して行われましたが、選手宣誓や各グループの応援合戦ではそれぞれの持ち味を活かしたものになりました。

今年の体育祭では、入場行進がなくなったり、1年次の年次競技も綱引きに変わったりと一部変更箇所がありました。また、最後の競技の大縄跳びではクラス全員が最後の最後まで懸命にリズムを合わせて飛んでいる姿が印象的でした。



ASHIKO TIMES NEWS 02

オーストラリア語学研修報告

7月21日(土)にオーストラリアへ向け出発し、8月4日(土)に全員無事に帰国しました。現地のWhites Hill State Collegeに2週間通いました。現地校では訪問した芦高生のための授業も用意してくれていました。また、一般の授業には現地の高校生とバディーを組んで参加しました。語学だけでなく、オーストラリアの文化にも触れることができ、実りのあるものになりました。研修の最後は日本文化のプレゼンを英語で行い、研修の成果を披露することができました。参加した生徒達は今後機会があれば、またオーストラリアに行きたいとの感慨を持ったようです。



芦高
キーワード
vol.5

指導委員

「題字は書道部の作品です」

毎年4月、新1年生の各クラスに、自治会(他校で言う生徒会)から「指導委員」が派遣されます。「指導委員」は、自治会の仕組みや学校行事について、朝や授業後のホームルームで1年生に教え、伝統の「自治精神」を伝えていく重要な役割を担っています。

「指導委員」が誕生したのは1959年、この年から県立西宮高校との定期戦も始まりました。1970年頃には、「校歌を覚えさせ、歌わせる」「体育祭の学年タテ割対抗への取り組み」などがメインだったようですが、時代の経過とともに1年のクラスに張り付く時間が短縮され、一方で「自治会の仕組み」「学校行事について」といったレクチャーが増えてきました。自治を身につけるために上級生が率先垂範し「校歌を歌い」「自治会行事にすすんで参加する」姿を見せることが本旨だったのでしょう。